



## 観光の目玉になりうる阿蘇市の桜 桜の銘木、桜並木の名所を生かす、手入れのすすめ

阿蘇ほたるの会（湯浅陸雄会長）が、阿蘇市内の桜の調査を  
されました。調査内容の一部をご紹介します。

### 桜の調査にあたって

桜は日本人の最も心とませる木であり、そういった桜を子や孫の代まで美しい状態で残したいという思いから調査に立ち上がった。なぜなら、阿蘇市の桜には、桜の「ガン」と言われるテングス病が多く見られ、放置しておくとう花が咲かない木へと変わってしまうからだ。調査の内容は、銘木、品種、樹齢、病木の確認と病状の程度を把握するものであった。

波野地域においては、山桜の植栽の比率がソメイヨシノより多く、病床を確認したが、若木で、十分再生できるものがあった。銘木も2本あった。赤仁田地区の庭先のしだれ桜、中道地区の300年を超える大桜。立派であった。一の宮・阿蘇地域は樹齢40年くらいの桜にテングス病が多く見られた。しかし定期的な切除管理をすれば3〜5年で再生する。阿蘇警察署と阿蘇自動車学校は切除管理をされており、とても綺麗に咲いていた。

市内一帯を回り、改めて白水の「一心行の桜」に劣らない桜があるとわかった。樹齢300年を超える銘木が10本もあったのだ。現在、桜で市の指定文化財となっているのは、明行寺（内牧）の「しだれ桜」だけだが、ぜひ他にも指定してほしいと願う。集团的桜並木の名所もまた見



▲ 門前町通り



▶ 阿蘇体育館横通り

事で、国立阿蘇青少年交流の家、阿蘇神社、坂梨の豆札、浄土寺牧公園、オムロン、門前町、カドリー・ドミニオン、内牧黒川堤防、長寿ヶ丘公苑、阿蘇体育館横通りなど、観光的にも大いに期待できるものであった。

今後定期的な切除管理を推進し、健康な桜へと改善するとともに、樹齢100年ほどの後に銘木になる2軍の育成も大事となる。ぜひ、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いしたい。日頃から散歩の際など、観察していただくとありがたいと思う。来春、全線開通して走る新幹線も「さくら」と愛称が決まったと聞く。ぜひ、全国からのお客さんを阿蘇市の見事な桜でお迎えしたいものである。

## みんなの広場

川上真莉奈さんが県高校空手で優勝！

第23回高校空手道1・2年生大会が2月7日開催され、九州学院高校1年の川上真莉奈さん（阿蘇中出身）が、個人組手（1年女子）の部で、見事優勝しました。決勝でも4対1と圧倒的な強さで勝ち上がった川上さん。高校でも活躍しています。

子どもの生活リズム確立作戦「チャレンジ！ノーテレビ・ノーゲームデー」運動標語審査結果

阿蘇地域の小・中学生による多数の応募作品の中から、本市で2名が受賞しました。

### 最優秀賞

波野中2年 後藤 亜美

### 「テレビより

家族と一緒にがあたたい」

### 優秀賞

波野中1年 岩下 恒輔

### 「食事中 話せば広がる

家族の輪（和）」

【先月号の訂正】2ページに掲載した坂本龍馬と阿蘇で誤りがありました。正しくは、下段「豊後鶴崎」、枠外の※「横井小楠」です。訂正しお詫び致します。